

**2023年長崎大学・鹿児島大学・琉球大学・北海道教育大学連携事業
へき地・離島・小規模校教育推進フォーラム 開催要項
(兼 第22回北海道教育大学へき地・小規模校教育推進フォーラム)**

1 趣旨

長崎大学、鹿児島大学、琉球大学、北海道教育大学は、へき地・離島が多い地域に立地しており、へき地・離島の学校教育を担う教員の養成と現職教員の研修を推進してきた。

本フォーラムでは、学校統廃合が困難なへき地・離島の学校で行われている個別最適で協働的な教育、自立的なガイド学習、ふるさと創生教育、遠隔合同授業等の新しい教育活動から「令和の日本型学校教育」の先進的可能性を捉えるとともに、これを発展させる教員養成教育の未来を考える。

2 主催

長崎大学教育学部、鹿児島大学教育学部、琉球大学教育学部、北海道教育大学

3 後援（予定を含む。）

文部科学省、北海道教育委員会、長崎県教育委員会、鹿児島県教育委員会、沖縄県教育委員会、全国町村会、北海道町村会、全国へき地教育研究連盟、北海道へき地・複式地教育研究連盟

4 日時・会場

日時 令和5年7月23日（日） 13:00～17:00

場所 北海道教育大学事務局第1・2会議室（札幌市北区あいの里5条3丁目1-3）
オンライン同時配信

(日程)

13:00	13:10	14:20	14:30	16:55	17:00
開会	(1) 基調講演	(2) 四大学連携フォーラム 事例報告①～④ ※質疑・応答を含む。		閉会	

(1) 基調講演

【演題】「人口減少社会における学校教育のあり方と地方の教員養成教育への期待」（仮題）

【講師】文部科学省大臣官房審議官（初等中等教育担当） 安彦 広斉 氏

(2) 四大学連携フォーラム

「全国的過疎化の中でへき地・離島教育が令和の日本型学校教育に提起するもの
－地方の極小規模校教育・教師教育から日本の先端的な可能性が見える－」

①「長崎県の離島・極小規模校教育の強みを担う教員養成・採用を目指した教育学部・附属学校・県教育委員会の協働」

【報告者】 長崎大学教育学部長 藤本 登

②「鹿児島県のへき地・離島・極小規模校教育の取組を踏まえて鹿児島大学教育学部が推進する教員養成・研修」

【報告者】 鹿児島大学教育学部長 有倉 巳幸

<裏面に続く>

③「沖縄のへき地・離島教育の現在地-渡嘉敷島と石垣島の小規模校の事例から-

【報告者】 琉球大学教育学部長 萩野 敦子

④「北海道教育大学・北海道のへき地教育の取組と教師教育の可能性-令和の日本型学校教育の構築に向けて」

【報告者】 北海道教育大学学長 蛇穴 治夫

【コメンテーター】 文部科学省大臣官房審議官（初等中等教育担当） 安彦 広斉 氏

【司会】 北海道教育大学副学長 玉井 康之

5 参加対象

日本教育大学協会加盟大学教職員、全国大学教職課程協議会加盟大学教職員、大学教職員、全国都道府県教育委員会関係者、全国市町村教育委員会関係者、全国へき地教育研究連盟加盟校、全国小中学校教員 ほか

6 参加申し込み

事前申し込み（申し込み期限は、令和5年7月18日（火））

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターホームページの「へき地・小規模校教育推進フォーラム」のタブか、チラシに掲載するQRコードから申し込みを行う。

なお、フォーラム当日までに、ミーティングURLと資料等をメールで送付する。

7 問い合わせ先

北海道教育大学教育研究支援部連携推進課

crc@j.hokkyodai.ac.jp 011-778-0942（担当 小林）